

2019 年卒  
Vol.05

## 4月1日時点の就職活動調査 <速報>

キャリアス就活 2019 学生モニター調査結果 (2018年4月発行)

企業の採用広報開始から1カ月。学生の就職活動はどのように進んでいるだろうか。4月1日現在のキャリアス就活・学生モニターの就職活動状況について調査を行ったところ、内定率は18.8%に上り、前年同期調査を上回った。内定率のほか多岐にわたる項目を調査したが、取り急ぎ主要指標のみ紹介したい。

### 1. 4月1日時点の内定状況

- 内定率は18.8%。3月(8.0%)より10.8ポイント上昇
- 前年同期実績(14.6%)を4.2ポイント上回る
- 内定取得者のうち、就職先を決定し活動を終了したのは17.3%

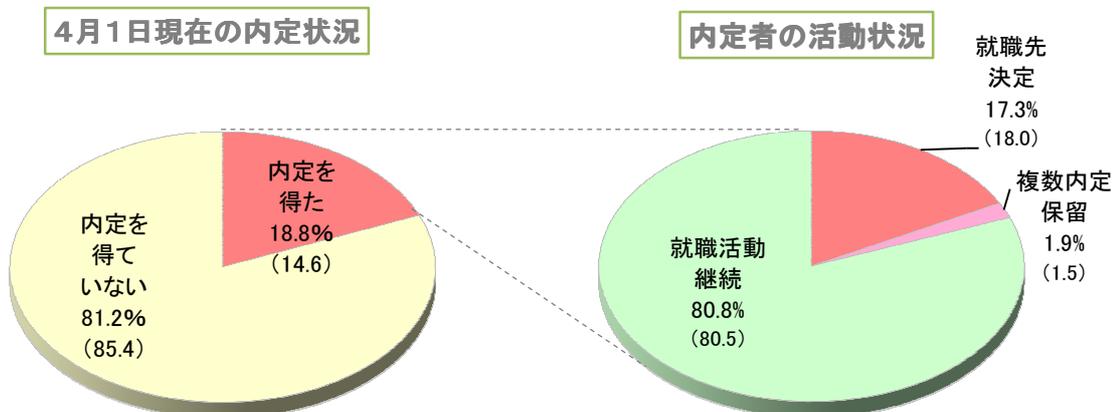
### 2. エントリー状況

- 一人あたりのエントリー社数の平均は26.2社。前年調査(31.7社)を5.5社下回る
- 今後の予定社数の平均は5.6社。前年調査(7.6社)より2社少ない

### 1. 4月1日時点の内定状況

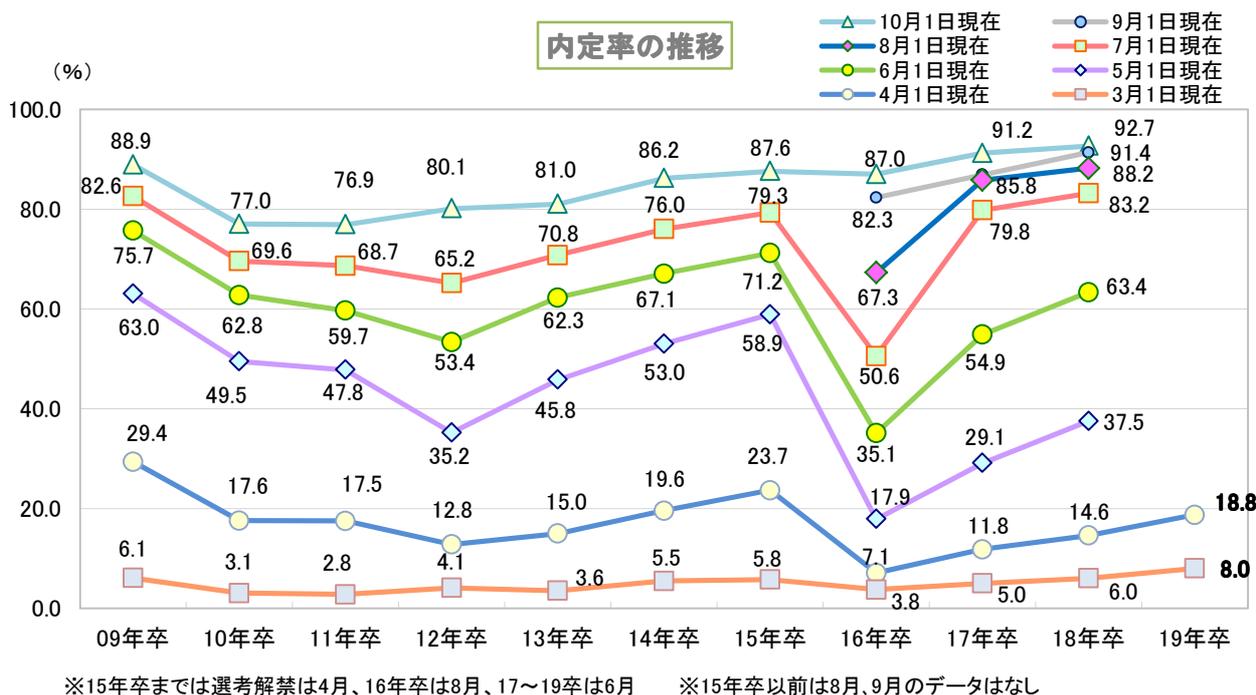
4月1日の調査時点で内定を得ている学生は全体の18.8%。先月(3月1日)の8.0%から1カ月間で10.8ポイント増えた。前年同期(14.6%)を4.2ポイント上回り、前年よりも企業の内定出しのペースが早く、採用活動の前倒しが進んでいることが見て取れる。

ただし、内定取得者のうち就職先を決めて就職活動を終了したのは2割弱(17.3%)で、内定者の8割超(80.8%)が就職活動を継続していると回答。モニター学生全体を分母にとると、就職活動を終了した者の割合は3%程度とごくわずか。



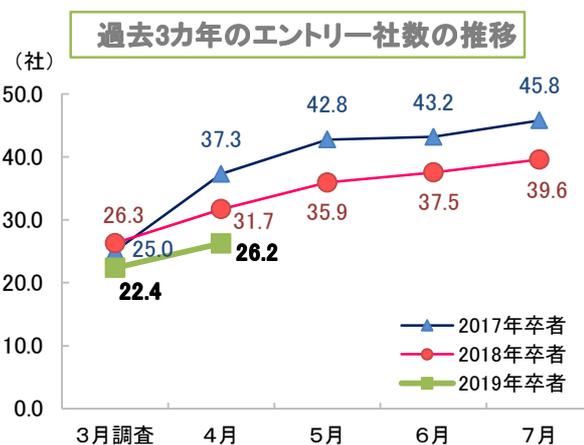
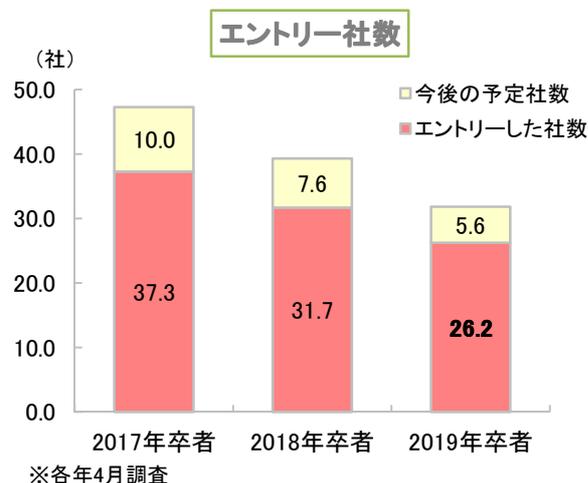
\*「内定」には、内々定を含む

※( )内は2017年の同調査での4月1日現在の数値



## 2. エントリー状況

一人あたりのエントリー社数の平均は26.2社。前年同期調査（31.7社）を5.5社下回る。前年との差は先月（3月）調査よりも開いた。今後のエントリー予定社数は平均5.6社で、前年同期調査（7.6社）より2社少ない。エントリーの伸びは鈍く、序盤から企業を絞り込んでいる様子が見える。



## 調査概要

- 調査対象：2019年3月に卒業予定の大学4年生（理系は大学院修士課程2年生含む）
- 回答者数：1,140人（文系男子356人、文系女子342人、理系男子294人、理系女子148人）
- 調査方法：インターネット調査法
- 調査期間：2018年4月1日～5日
- サンプリング：キャリアス就活 2019 学生モニター（2016年卒以前は「日経就職ナビ・就職活動モニター」）

◆本資料に関するお問い合わせ先：03-4316-5505 / 株式会社ディスコ キャリアスリサーチ